

PTA会報



学校創立90周年記念式典



なまず祭り



創立90周年記念文化祭
最優秀賞「つまようじ点描(1年6組)」

参加する楽しさ

PTA副会長 今 幸治



昨年度よりPTA役員をさせていただいております、PTA副会長の今です。私は現会長の後藤さんから、「一緒に羽島高校を盛り上げてもらえませんか」と誘われ、自分で大丈夫なのかと不安で一杯でしたが、是非やってみたいと思い役員を引き受けました。

自分の高校時代を思い出しながら高校の門をくぐると、「おはようございます」と生徒の皆さんから次々とあいさつされ、びっくりしました。よし、羽島高校の生徒と一緒に精一杯務めようと思いを強くいたしました。

PTA活動のひとつである、月1回の「あいさつランドはしま」に参加しました。2回、3回と参加するたびに、あいさつを通じて生徒も自分自身も変わっていくのがわかりました。今の高校生に必要とされる礼儀やコミュニケーションの能力、また元気の良さ、明るさを羽島高校の生徒はきちんと持っており、それを伸ばすために我々大人がどの様に導いていかか問われていると感じております。保護者の皆さんから、多くのご意見をいただきたいと思っております。

9月7日に行われました、学校創立90周年記念文化祭にも参加させていただきました。その中で印象に残っているのが体育館のステージで、照れくさそうにダンスをしている生徒に「頑張れ」と声をかけました。また、11月25日の「美濃

竹鼻なまず祭り」では、どしゃ降りの雨が降る中、吹奏楽部の演奏にあわせ野球部や陸上競技部、生徒会の皆さんと一緒に御輿を担ぎ、喉がかわるまで声を出しました。応援をしたり、声を掛けたりすることで生徒の皆さんと触れ合うたびに、心の声が聞こえてくるような感じに思え、私の心も熱くなりました。

学校創立90周年記念式典と記念芸術鑑賞会に出席した時も、来校時の受付から控室での接待、式典での生徒の振る舞いに感動しました。90年の伝統の重みを感じそれを引き継いでいこうとする今の羽島高生の意気込みを感じました。また、芸術鑑賞会ではオーケストラと吹奏楽部が共演しました。吹奏楽部の『生徒が芸術を提供する側』にいるという目の前の光景に驚き、指揮者の方の上手な話に笑いと感動を与えてもらいました。

PTA役員だけではなく、保護者の皆様も機会を捉えては羽島高校へ来ていただき、生徒達のエネルギーを感じPTA活動へのご参加をお願いしたいと思います。

私は羽島高校の生徒達と触れ合うたびに、少しずつであったり小さな事であったりしますが、家庭とは違う何かを感じています。冬休みに入り、年末年始をご家庭で過ごす時間が増えると思います。保護者の皆さんも、ちょっと時間を取っていただき、子ども達と触れ合う機会にさせていただいたらと願います。そうすることで、保護者と子供の両側からお互いをもっと理解できるのではないのでしょうか。

卒業後の目標を明確に

学校長 杉山 昭彦



保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、10月20日(土)に、創立90周年記念式典が同窓会・PTAの役員を始め多くの関係者のご支援を得て立派に挙

行できましたことに対し、改めてお礼申し上げます。

「創立90年に感謝 未来へ羽ばたく羽島高校」を標語に掲げ、本校が地域に果たしてきた役割や卒業生の活躍を再認識し、在校生に伝統と歴史のある羽島高校の生徒としての自覚と奮起を促す機会にしたいと願い準備してきました。幸い係を務めた在校生の活動の様子や身だしなみ・挨拶・言葉遣い、式典における在校生の態度等について、ご出席いただいた方々から多くの賛辞の言葉をいただきました。在校生は、実行委員長式辞やご来賓の挨拶等を聞き、母校となる羽島高校への愛着心を深め、益々奮起することを胸に誓ってくれたと確信しています。

記念式典の後、会場を移し同窓会総会と懇親会・記念祝賀会が催され、教職員も全員参加させていただきました。今年も、第34回生の同窓会幹事様のご尽力により盛大な会となりました。参加された同窓生からは、昔を懐かしむ言葉と同時に母校に対する熱い思いや在校生への激励の言葉をいただきました。

さて、近年本校への入学志願者が増え、羽島市内はもとより、岐阜地区内でも本校に対する評価が高まっ

ているところですが、現在の本校教育課題の一つに、キャリア教育を通して、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた「生きる力」を育むとともに、進学・就職へ向けての自己実現をさせることがあります。そのためには、生徒自身による3年間の様々な努力が必要不可欠であり、楽な道や近道はありません。欠席や遅刻をしないように登校することは当たり前のことであり、授業を真面目に受けること、家庭学習をすることが重要です。また、放課後や休日に、部活動等に取り組むことも必要であると思っております。

お預かりするお子様が様々な力を身につけ、社会へ出ていくためには、生徒自身の努力に加え、今まで以上に学校の教育方針にご理解とご協力をいただき、教職員を信頼し時間をかけて指導していくしかありません。お子様の将来のために、学校と家庭の信頼と協力関係をより一層大切にしたいと考えています。

人は誰しも、目標がなくては困難に立ち向かうことができません。生徒には、高校卒業後の目標を明確にもち、基本的な生活習慣を確立し、高校生としての本分を果たすべく、脇目もふらず学校生活に取り組んでもらいたいと切に願っています。

いよいよ2学期も終わり、2013年を迎えます。新しい気持ちで3学期を迎え、卒業、進級へ向かって学校生活に集中してほしいと思う毎日です。保護者の皆様におかれましては、年末年始、ご家庭でお子様と将来について語り合う機会をもっていただきますよう、よろしく願います。

「岐阜県ふるさと教育週間」を行いました

～みんなで学び、みんなで語ろう!、私たちの「ふるさと」～ 平成24年11月6日(火)～15日(木)

「岐阜県ふるさと教育週間」にあわせて、学校と家庭・地域社会が一体となった教育の推進と、「開かれた学校づくり」に取り組むために、11月6日～15日の間、授業や薬物乱用防止講話の公開、及びあいさつ運動などを実施しました。本年度も数名の保護者、同窓会員、地域住民の方々に、授業や行事の参観をしていただきました。

本年度は、北舎16教室のエアコンが本格稼働し、南舎外装の改修工事も終了して、より良い環境の中で在

校生が学習に励んでいる様子を見ていただくことが出来ました。また、13日(水)に行われた「薬物乱用防止講話」にも保護者の方に参加していただき、生徒の様子を見ていただきながら講話を聴いていただきました。

15日は、名鉄羽島市役所駅前で、本校PTAと中学校の先生方、羽島市教育委員会の関係者の方々と「あいさつランドはしま」を行い、駅を利用する多くの方々に「おはようございます。」のあいさつ運動をしました。

創立90周年記念式典

創立90周年記念式典を終えて

PTA会長 後藤 由歌

10月20日、学校創立90周年記念式典が開催されました。当日は天候にも恵まれ、爽やかな秋晴れの天気になりました。

式典会場では、とても厳粛な雰囲気、ピンと張り詰めた空気の中、自然と背筋が伸び、とても大切な式典なのだ、改めて実感致しました。

また、静かにきちんと着席し、美しい姿勢と態度で式典に臨んでいた生徒さん全員の姿に、とても感心しました。90年という歴史と誇りと自信を、一人ひとりが感じてくれたからだと思います。「羽島高校の歴史と伝統は、これから将来にわたり、あなたたちが引き継ぎ、守り、育ててくれるのだ。」と安心いたしました。

そして、式典とそれに続く芸術鑑賞会が無事に滞りなく開催できましたのも、学校長をはじめ、教職員の方々、同窓会役員の皆様、PTA役員の方々、地域の人たち、関係者の方々、そして何よりも、羽島高校の生徒の皆さん、本当に多くの方々のご尽力のお陰と深く感謝しております。

私のような者が創立90周年の記念すべき年に携わらせていただき、本当に感謝しています。素晴らしい経験をさせていただいて、ありがとうございました。

未来へ羽搏く羽島高校が、今後100周年に向けて益々繁榮し、向上していくことを願っております。



羽島高校創立90周年 記念式典に参加して

PTA副会長 兼松 博之

10月20日、岐阜県立羽島高等学校創立90周年記念式典が、大野県議会議員様、羽島市長様、羽島市教育長様をはじめ、

歴代の校長先生、PTA会長、同窓会長、永年勤続の教職員の皆様、岐阜県内の高校及び中学校の校長先生、学校評議員、同窓会役員、PTA役員等、多くの方々のご参列を得て、盛大に催されました。

当日は、気持ちのよい晴天に恵まれ、お客様を出迎える生徒たちのさわやかな挨拶と、心のこもった接待を受けて、ご招待を受けた方々皆様に澄み切った秋の空のような晴れ晴れとした笑顔があふれ、厳粛な中にも温かい気持ちになる素晴らしい式典となりました。

式典に参加して、多くの方々の支えによって高校があることを改めて実感しました。感謝の気持ちを持つとともに、子どもたちはもとより私たち親たちにもお世話になっている高校を支え、次の代に受け継いでいく責任があることを感じました。

続いて行われた、記念芸術鑑賞会にも参加させていただき、「アンサンブル・ムジーク弦楽合奏団」の演奏を聴かせていただきました。普段接することの少ないクラシック音楽を、親しみやすく、楽しくご紹介していただき、生徒たちにも大変好評だったようです。

また、式典に先立ち、90周年記念事業として実施しました「北舎空調設備設置事業」においては、同窓会様から多大なご援助をいただき、北舎HR教室に立派なエアコンを設置することができました。今年も大変な暑さとなった9月の残暑でしたが、生徒達は快適に過ごすことができました。この場を借りて、同窓会の皆様をはじめ本事業にご協力いただいた皆様に重ねてお礼申し上げます。

羽島高校は100周年に向けて、新たな始動をしました。

本校の益々の発展と、同窓会の皆様、校長先生をはじめ教職員の皆様、在校生諸君、そしてPTAの皆様のご健勝を心からお祈りいたします。



進路指導部より

本校では、「社会の一員として生きていくための知識・モラル・マナーを備えた生徒」「将来について前向きに考え、目標をもって努力できる生徒」の育成を念頭に置きながら、一人一人の生徒の進路希望を大切に多様な取組を実施しています。

夏季休業後の主な取組には、次のようなものがあります。

1 PTA役員の皆様による面接指導(9/10・11)

3年生就職希望者に対して、6月から5期に分けて、全職員体制で面接指導を行っています。その中で、PTA会長様はじめ11人のPTA役員の皆様にもご協力いただきました。

PTA役員による面接指導は、9月16日から開始される就職採用試験の1週間前に行っていただきました。場慣れと仕上げを目的とした指導で、本番に近い緊張感の中で面接をしていただきました。

2 3年生進学推薦説明会(9/1、2)

3年生の推薦入試等に関する本校の推薦基準、手続き、具体的な指定校名等について詳細な説明をしました。今年度も保護者の皆様一人でも多く参加していただけるように2日間実施し、41人の保護者の皆様に参加していただきました。

3 1、2年(保護者対象)進路研修会&講演会(来年1/23予定)

今年度の具体的な就職・入試結果等についてお知らせできます。また愛知学院大学入試センターの目次和子(めつぎかずこ)氏を講師にお招きし、「キャリア教育を視野に入れた子どもとのかかわり方」についてお話していただきます。多くの保護者の皆様のご参加をお待ちしています。

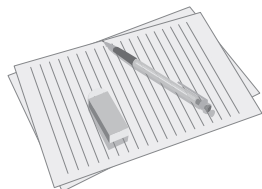
4 羽島商工会議所との連携

毎年本校のキャリア教育にご支援をいただいている羽島商工会議所の協力を得て、各種の行事を計画・実施しました。

- (1) キャリアカウンセラーによる就職面接指導及び就職相談(3年生対象、9/14,18,21,24,25,28 6回)
- (2) 進路講演会(1年生対象、来年2/20予定)

5 岐阜公共職業安定所との連携

3年生で就職未決定者対象に、ジョブサポーターによる就職相談会(10/2,4,9,12、12/6,7予定)を行っています。生徒個々の希望に応じて、就職先を紹介していただいています。



進路状況

1 就職について

今年度は、求人数はやや回復の兆しはありますが、その多くが、都市部を中心とする飲食店の店員などのサービス業などであり、特に女子生徒が希望する事務職や販売職は依然として厳しいままです。

現時点での内定者は約46%で、今後も関係各機関と連絡を密にして、希望者全員が内定できるように全職員で努力しているところです。

○就職状況 (12月6日現在)

	就職希望者数	内定数		公務員	合計
		学校紹介	縁故		
男	17	9	0	0	9
女	37	17	1	1	19
合計	54	26	1	1	28

2 進学について

平成18年度以来、国公立四大への合格が途絶えていましたが、6年ぶりに岐阜県立看護大学への合格を果たしました。ここ数年大学入試センター試験の受験も0名でしたが、本年度は、4名の受験者がいます。一般入試で私大を受験するものを含め、これからが正念場です。

現在の進学状況は次のとおりです。

○進学状況 (12月6日現在)

入試方法	四大		短大		専門	合計
	国公立	私立	公立	私立		
AO・自己推薦	0	4	0	3	42	49
指定校推薦	0	26	0	18	12	56
公募制推薦	1	0	1	0	2	4
一般入試	0	0	0	0	0	0
合計	1	30	1	21	56	109

3 就職、進学に向けて

本校で今最も必要なのは、進路希望を実現させるために、それに見合ったレベルの実力を養成するということにつきると思います。

大学へ指定校推薦やAO入試で進学した生徒の中には、実力不足で留年したり退学したりする生徒が少なからずいることを耳にします。国公立大学や中堅私大を目指す特進クラスや理系クラスの生徒は、センター試験や模擬試験を全員受験するよう義務づけるなど、何らかの学力向上策をとっていく必要があると考えています。

また、就職、公務員対策としても、一般教養を中心とした学力養成が必要だと感じます。受験をした企業の中には、不合格の理由を教えてくださいとあるのですが、その第1の理由は、学科試験が基準点に足りないというものでした。公務員試験でも、公務員予備校出身者とも対等に戦えるだけの学力養成が急務となっています。今後は、進学補習だけでなく、就職・公務員補習を実施するなどの対策の必要性を痛感しています。

文化祭

9月7日(金)に文化祭が行われました。本年度のテーマは「百羽繚乱」で、本年度創立90周年を迎える羽島高校が、100周年に向けてさらに羽ばたくことを目標に文化祭を創り上げました。

各クラスや文化系部活動がこの日のために一丸となって準備をしてきました。クラス展示では、縁日・ドラえもん・ペーパークラフト(動物)・ステンドグラスなどがあり、体育館では、吹奏楽部の演奏に始まり、演劇部やクラスのダンスなど大変盛り上がりました。また、文化系部活動の発表として、科学部の綿菓子作りや茶華道部によるお茶会、書道部・美術部の展示もありました。そ

れぞれ生徒達が工夫しながら、完成・披露をしました。また、有志によるダンスやバンド演奏などもあり、大変盛り上がった1日となりました。

また、全ての発表の中から最優秀賞に1年6組の「つまようじ点描画」、優秀賞には3年3組の「DANCE」と2年5組の「ペーパークラフト」が選ばれました。



茶道部呈茶席



ダンスパフォーマンス

芸術鑑賞

10月20日(土)の創立90周年記念式典の後に、芸術鑑賞会が行われました。

本年度は、世界的に活躍されている指揮者の堺武弥(さかいたけや)先生の指揮のもとでアンサンブル・ムジーク弦楽合奏団の演奏を聴きました。

堺先生の上手な話をまじえながら、普段は聴きなれないクラシックの音楽に興味深く聴くことができました。また、本校吹奏楽部と一緒に合奏する校歌があったり

希望者による指揮の体験など、さまざまな企画があり、本当に楽しい時間が過ごせました。



本校吹奏楽部とのコラボレーション

スポーツフェスティバル

10月26日(金)に、秋の恒例行事のスポーツフェスティバルが晴天の中行われました。スポーツフェスティバルは、バレーボール・バスケットボール・卓球の三種目に分かれ競い合います。そして最後にはクラス対抗大縄跳び大会をします。

晴天に恵まれ、朝からグラウンドや体育館で一生懸命にボールを追う姿や、仲間を応援する姿が見られ、どの会場でも熱戦が繰り広げられました。

午後からは、クラス対抗の大縄跳び大会でしたが、3分間で最高何回連続で飛び続けるのかを競いました。クラスの仲間の応援



を励みに、選ばれた14名が跳び2名が必死で縄をまわし、クラス全員の息の合った姿が見られました。

各競技の結果は以下の通りです。

	学年	男		女	
		優勝	準優勝	優勝	準優勝
バレーボール	1	1年4組	1年6組	1年1組A	1年4組B
	2	2年1組A	2年1組B	2年3組B	2年2組
	3	3年2組	3年1組	3年4組B	3年1組A
バスケットボール	1	1年1組	1年3組	1年3組	1年1組
	2	2年2組	2年5組	2年1組	2年2組
	3	3年3組	3年2組	3年1組	3年4組
卓球	1			1年2組A	1年1組A
	2	3年5組	2年5組	2年5組B	2年1組A
	3			3年4組A	3年3組B

	学年	優勝	回数	準優勝	回数
大縄跳び	1	1年4組	21	1年6組	19
	2	2年1組	35	2年3・5組	33
	3	3年2・4組	25	—	—

※男子卓球は3学年で競いました。

※大縄跳び2年準優勝は、同じ回数で3組と5組。

3年優勝は、同じ回数で2組と4組。

平成24年度

2年生 修学旅行

沖縄

10月30日から11月2日にかけて、2年生は3泊4日の沖縄本島への修学旅行を実施しました。

出発前の事前研修として、10月10日に岐阜県沖縄県人会の方々に沖縄の歴史、文化の紹介と沖縄舞踊の紹介をしていただきました。現地に行ってもなかなか得られない体験だったと思われます。

また他にも、班ごとで地図や資料を調べながら、タクシー研修コースの計画を立てました。初めて飛行機に乗る生徒も多く、旅行社の方から旅行に関するいろいろと注意すべきことを聞きました。

今年度の行程第1日目と4日目は、A班とB班に分かれ別々の飛行機で移動することになりました。A班、B班とも朝早い出発だったのですが、保護者の皆様のご協力により、時間通りに出発することができました。1日目は飛行機で那覇空港に到着した後、「首里城」を見学しました。午後は班別に国際通りでの研修を行い、買い物や沖縄料理を楽しみました。

2日目は「ひめゆりの塔」、「平和祈念資料館」を見学しました。「ひめゆりの塔」では、『戦争体験講話』を聞くことができました。つらい内容のお話でしたが、生徒は真剣に話を聞き、平和と戦争について学ぶところが大きかったと思います。午後は「かりゆしビーチ」でグラスボートに乗る予定でしたが、あいにくの雨と風のため急遽予定を変更し、「琉球村」を見学しました。「琉球村」には古い民家が保存しており、沖縄の風物を知る良い機会になりました。その後バスで名護市に移動し、名護市内のホテルに泊まりました。

3日目は、班ごとにタクシーに分乗し、自分たちの立てた計画に従い名護市近辺を巡りました。主な行き先としては、「美ら海水族館」、「パイナップルパーク」、「むら咲村」、「ブセナ海中公園」などです。またマリンスポーツに挑戦する班もあり、アクアダイビング、シュノーケリングなどを体験し、とても好評でした。

最終日は名護市から那覇市まで戻り、飛行機、バスを乗り継いで、羽島に帰着しました。

旅行後半は天候に恵まれ、充実した体験ができました。「集団の中で自主的・自律的な態度を養う。」「沖縄の自然・歴史・文化に触れ、平和について考える。」「日常と異なる生活環境で友情の精神を高める。」の3つを修学旅行の目的に掲げたのですが、多くの生徒にとって目的は達せられたと思われます。



▲戦争体験講話

首里城▶



◀美ら海水族館

平成24年度

1年生 遠足

高山

10月31日(水)、1年生は高山へ遠足に行ってきました。

バスが郡上を越えたあたりから、山々が徐々に色づき始め、紅葉がきれいな秋の景色を堪能しました。

高山市内では、高山別院をスタートにグループ研修を行い、宮川の朝市、上三之町から高山陣屋へと、小京都とよばれる高山の町を散策しました。中には桜山八幡宮方面まで足を伸ばしたグループもあり、高山屋台会館などの古い伝統に接した研修を行いました。また、飛騨牛の串焼きや高山ラーメン、みたらし団子など、高山の美味で友達と楽しい時間を共有しました。普段の学校生活とは違う貴重な体験で、クラスの連帯感もぐっと高まった一日でした。



平成24年度

3年生 遠足

京都

10月31日(水)、3年生は京都へ遠足に行ってきました。

当日は快晴で絶好の遠足日和となりました。予定通り羽島市民会館を出発し、途中渋滞もなく、30分程早く平安神宮に到着しました。クラス写真撮影後、班毎で京都市内散策に出かけました。知恩院や八坂神社を訪れたり、動物園や博物館を見学したり、公園でのんびりとくつろいだりと、仲間と楽しい時間を過ごしました。お昼は名物の湯豆腐やうどん、事前にレストランを予約してランチを楽しんだり、有名ラーメン店巡りをしたりと、お腹いっぱいになり、京都の食べ物を堪能しました。最後は清水寺の近くでお土産をたくさん買って思い出深い遠足となりました。

